



鎌田地区
令和2年3月1日現在
世帯数 8,953 戸
男 9,923 人
女 9,557 人
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会



最初に歩き方を練習

講師に長野県サッカー協会理事の篠原裕一さんを、ゲストに松本山雅FCの片山真人さんを迎え、24名が参加しました。

イングラウンドが発祥の「歩くサッカー」は、走らない・蹴り上げない・ぶつからない・ヘディングをしないなどが主

松本市の公民館では初めての「ウォーキングサッカー体験教室」を、スポーツ委員会の主催により2月14日に鎌田体育館で開催しました。

世代を超えて楽しめるスポーツ ウォーキングサッカー体験教室



チームに分かれて楽しくゲーム

なルールで、無理なくプレイできることからシニア世代を中心に親しまれています。ストレッチやウォーキング



参加者全員で「One Soul」

などでウォーキングアップをした後「思いやりを持って無理をしない」などプレイの基本やルールの説明を聞き、キックの基本からパス回しへと進んで、後半は3チームに分かれてゲームを楽しみました。

つい夢中になって走ってしまったり、ボールを吹かれたり、ゴールするとハイタッチや拍手で称えあったり、オウンゴールや珍プレイが飛び出すとその度に大きな歓声が上がっていました。

参加者からは「これなら無理なく楽しめる」「久しぶりにいい汗をかけた」など好評で、2時間が短く感じられる楽しい体験教室でした。

今後、鎌田地区公民館では参加者の声を聞き、ウォーキングサッカーのサークル結成を模索していくとのことです。



おひなさま工作 (高宮児童センター)

「つどいの広場」は松本市が平成17年から実施している、未就園の乳幼児と子育て中の保護者が自由に遊べる場所です。

鎌田地区には高宮児童センターと鎌田児童センター内の2ヶ所があり、平日の9時～14時に開所しています。

利用者の方からは「いつも楽しく利用させてもらっています」「季節ごとのイベントや工作が大好きです」「相談にの

つてくれたり、子育ての情報や「入園したい」「入園するので先生や友だちになつた子と会えなくなるのが残念」などうれしい声をいただいています。

遊具もボールプール、トランプリンなどがあり、大きなボールプールを使う遊びや夏のイベント情報等はWebサイト「松本市社会福祉協議会」や『月刊イクジ』をご覧ください。

常連の親子ばかりでなく初めての方もよく来られます。明るく陽気な支援員が「子育てが楽しくなる」をモットーに皆さんのご利用をお待ちしています。

街かどの話題 145

子育てが楽しくなる
「つどいの広場」



高宮児童センター
館長 五十嵐 一雄



わくわくクリスマス会 (鎌田児童センター)

選挙解説講座

選挙制度と一票の大切さを学ぶ講座を、鎌田地区公民館と明るい選挙推進協議会の共催により、1月17日に開催しました。

講座では、市選挙管理委員会の寺岡事務局長を招き、平成28年の市長選挙の地区別投票状況、普通選挙の歴史、くらしの中の選挙について学びました。

松本市は普通選挙運動の発祥の地です。明治時代に運動を提唱した中村大八郎や木下尚江たちの功績を讃えるモニュメントが中央図書館の前に建っています。

鎌田地区の投票率の推移を見ると、いずれの選挙でも市の平均を下回っています。選挙権年齢が18歳以上に改正された以降でも関心が薄い傾向です。国や市の行方を決める選挙が一部



鎌田地区の投票率の推移を見ると、いずれの選挙でも市の平均を下回っています。選挙権年齢が18歳以上に改正された以降でも関心が薄い傾向です。国や市の行方を決める選挙が一部

鎌田地区の歴史 ⑧



隣近所が協力して農作業 (笹部・昭和30年代)

田植機など農作業の機械化は昭和40年代以降に進んだが、それ以前の田んぼ仕事は「結い」という近隣の仲間組織が共同で行っていた。写真の光景は農村地帯だった笹部の田で、苗代から苗を取って束ね、田植えに備える「苗取り」の作業。



パラリンピック競技種目としても採用されている「ボッチャ」

2月22日、鎌田地区体育協会主催の「第11回さわやか健康教室」には子どもから高齢者まで約80人が参加しました。

このシリーズでは公民館で活動する利用者団体の様子を紹介します。サークル活動に関心のある方は地区公民館にお問い合わせください。

鎌田地区の投票率の推移

選挙名	鎌田地区	松本市全体
平成31年4月市議会議員選挙	35.00%	47.49%
令和元年7月参議院議員選挙	46.15%	48.62%
令和2年3月市長選挙	43.46%	48.38%

一人ひとりが主権者としての自覚を持ち、意思が正しく政治に反映される選挙となるよう行動を起こし、大切な一票を活かしましょう。

鎌田地区公民館 活動サークルの紹介 陶楽会(陶芸)

鎌田地区公民館には市内の公民館で唯一、陶芸窯2基と陶芸作業棟があり、5つの陶芸サークル(土と炎の会・陶和会・陶愉会・陶親会・陶楽会)が曜日や時間帯を違えて活動しています。

そのひとつ、陶楽会は平成15年の発足以来のベテランから陶芸を始めたばかりの初心者まで、26人の仲間が毎週火曜日の昼間を中心に作陶に励んでいます。

代表の宮坂敏行さんは「会の信条は仲良く楽しく」と語り、技術の向上と親睦を目的



本焼(窯焚き)を終え完成した会員の作品

に窯元を見学する旅行などの行事も実施しているそうです。

雑感

今年の日本の冬は昨年平均より2度上回る過去最高の気温と最小降雪量の記録的な暖冬だった。春彼岸の頃に見ごろの福寿草が2月には庭で咲いていた▼地球温暖化は昨年の台風19号、オーストラリアの大規模森林火災、ベネチアの高潮など世界中で極端な異常気象を引き起こし、生物や農作物環境に悪影響を与えている▼2015年のパリ協定は、今世紀末の平均気温の上昇を2度未満にすると目標を掲げ今年始動したが、温暖化の原因であるCO2を多く排出する石炭火力発電を続ける日本は、12月のCOP25の会期中に「化石賞」に選ばれた。再生可能エネルギーが開発を促進すべきだと思ふ▼気候変動対策の転換を求め、一人で座り込みを始めたスウェーデンのグレタさんに共感する若者は今や450万人に達するとか。伊那弥生ヶ丘の高校生がスマートフォンを使い削減量を競う「CO2削減クラスマッチ」の実施を知った▼自分たちにできる日常生活でのエコ活動の輪が拡がり、日本の美しい四季や地球環境が一日も早く復活されることを願っている。(南雲 多榮子)